



悪魔ショタ×聖女

無垢なる聖女は 闇に堕ちる

悪魔

ゼーんぶ
まじそっだ♡

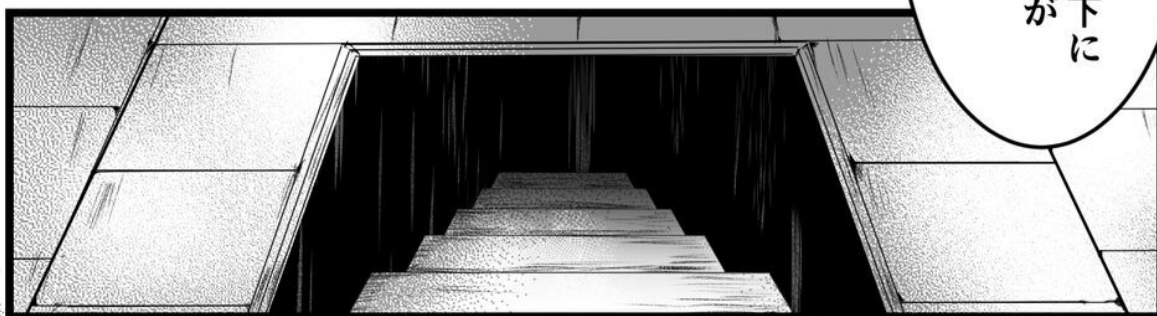
さっき助けた
お礼の話だよ
契約の対価って
言えは分かるかな

エルミナ
こっち向いて？

無垢なる聖女は
闇に堕ちる



まさか礼拝堂の下に
こんな隠し部屋が
あるとはな…



やっと見つけたぞ

癒しの聖女





安心しろ



1人残らず
あの世界に送ってやった



村の人達はあなた達に
何もしていないのに！

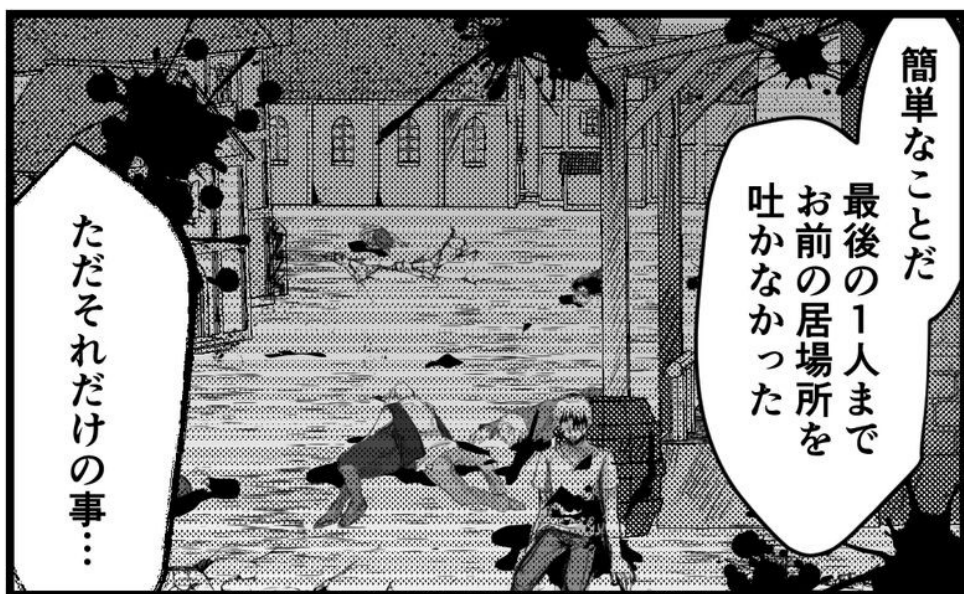
どうして
そんなひどい事を



…どうして



そ…そんな…



簡単なことだ

最後の1人まで
お前の居場所を
吐かなかった

ただそれだけの事…



その聖女が持つ
無限の魔力回路があれば
どんな強大な魔法も
底なしに撃ち続けられる…



世界中の人間が
お前の力を求めている

百年に一度
この世に誕生すると
言われている癒しの聖女



これが
失われた白族の
防衛魔法…

聖女を守るため
必死に生成した
というところか…

念のため魔力核を
用意しておいてよかった…

こいつを使うのは
痛手だがそれを
使う価値はある

これで聖女は
私のもの…

いいや…
来ないで…





それに今の感覚…



なんだこの部屋は…
防壁で気づかなかったが
瘴気が濃い



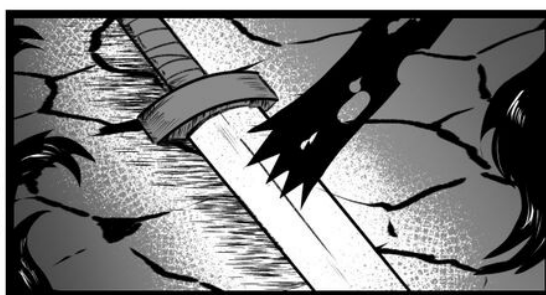
どうにかして
ここから
逃げないと――



でも今はそんな事…
人数が少なくなった時に
この剣で…



こんな剣…
さっきあったかしら…



カチャ



今後も抵抗
されては面倒だ



随分と威勢のいい
聖女だ…

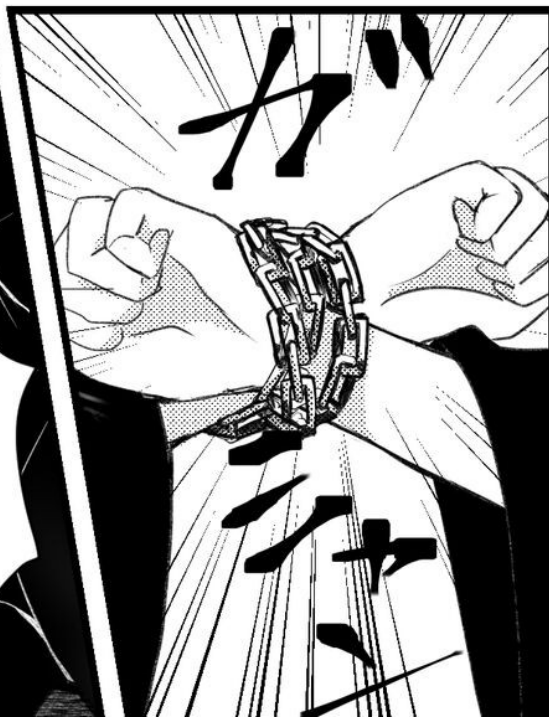
手に持つてるもので
私たちの隙をつき…
というところかな

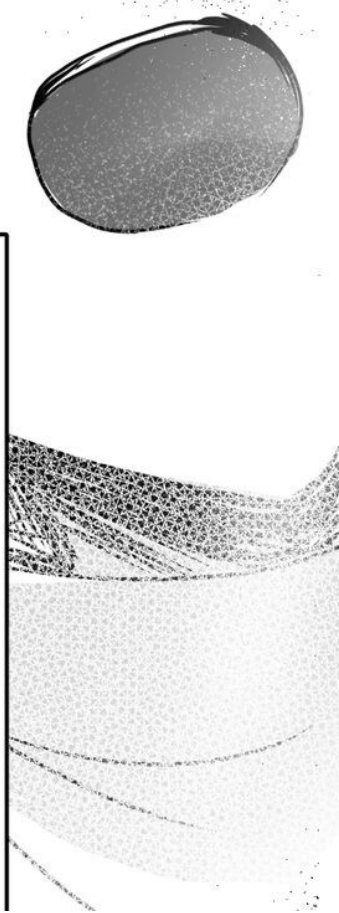
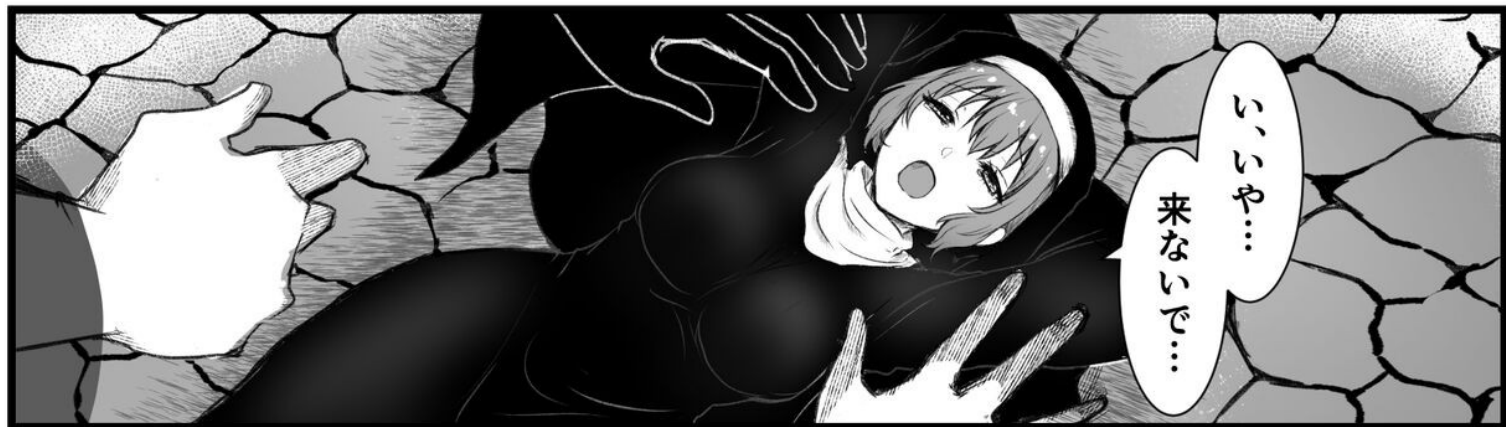


二度とそんな考えを
起こさぬよう
躰けようじゃないか



きゃっ！







君を救ってあげる



あ…あなたは…？

僕…？

僕は君を救うものさ

そのかわり
君の大事なものを貰う

大事なものの…？

そうこれは契約…
僕が君を守る代わりに
君は僕に対価を支払う



ああ…
これが悪魔…



悪魔は心の隙を
狙ってくるって
神父様が言ってたっけ…

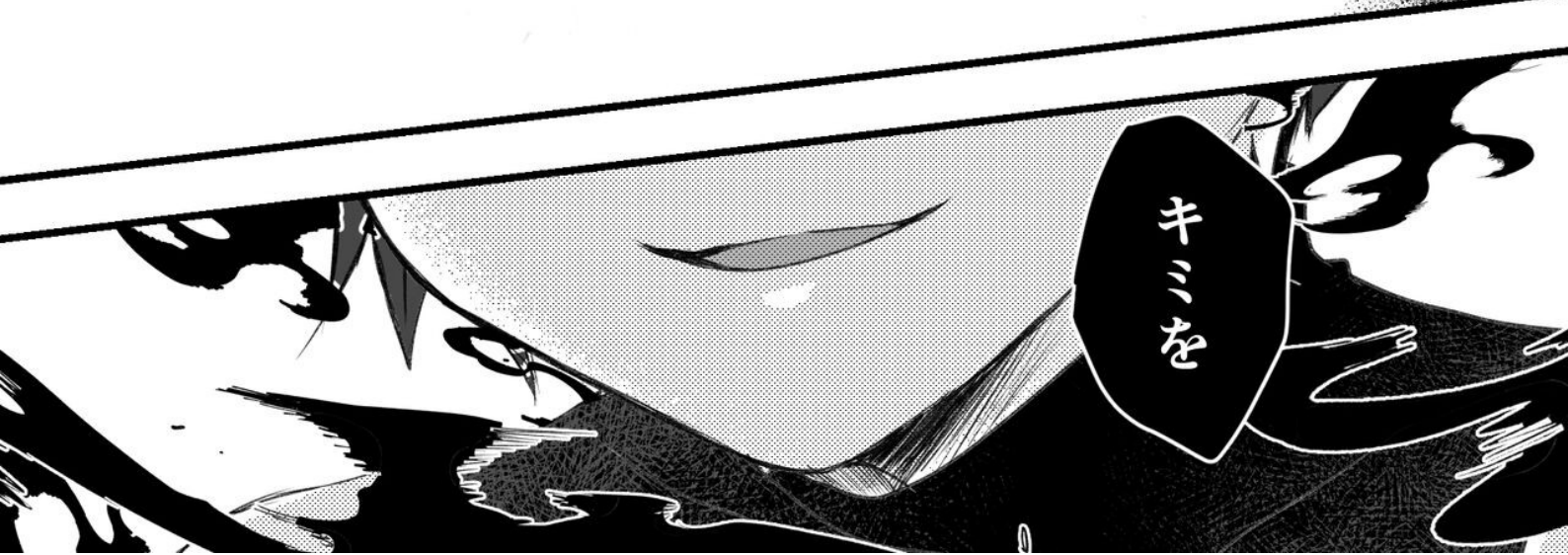
でも…



こんな人達に
連れていかれる
くらいなら…



さあ僕と契約しよ？
君を傷つける
全てのモノから



この地獄から

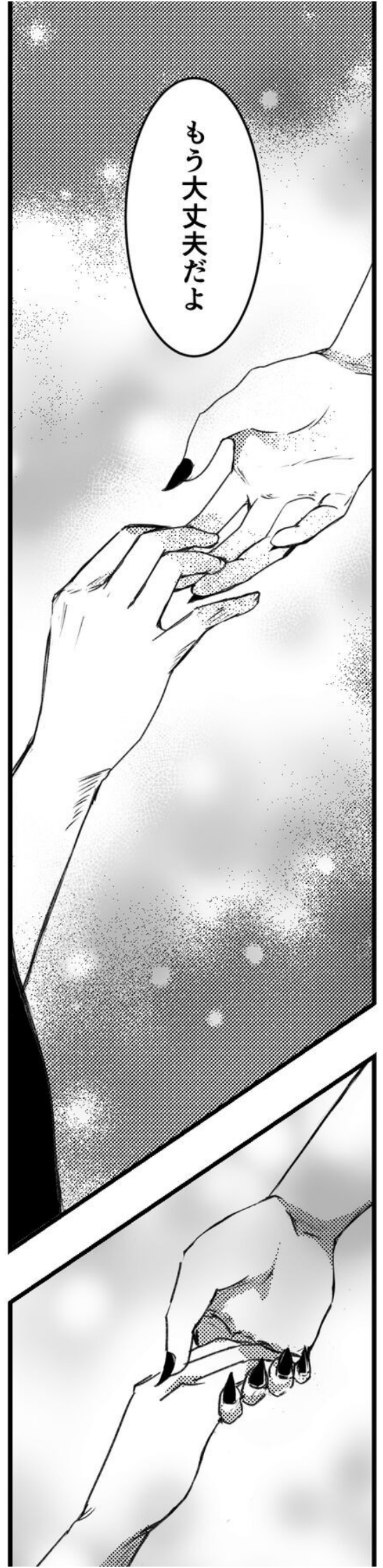
キミを



救ってみせるから



.....
u





殺してあげる



私はなんて...

ああ...
神様...



契約...

ホロ

ホロ

罪深いでしょう







今日はここで
一休みかな〜



悪魔とはいえ
私はなんて事を…

まさか悪魔の正体が
まだこんな子供
だったなんて…

中腹は小尻が
おしなやうにねえ



どうして
私の名前を？

契約を結んだから
名前くらいわかるよ



ん？どうしたの

エルミナ



…アベル

エルミナ…？

い…

ぴちゃ

そっ!!
せいか…

私…あなたに
何て酷いお願いを…

ごめんなさい…

泣かないで
エルミナ

で…でも
私はあなたに

あの人たちを…

大丈夫だよ

!?

僕はね



人を殺すのに
慣れてる



まあさっきは
殺す前にエルミナに
止められちゃったけど

それに



何百年もずーっと

1人で待ってたから



それでね
エルミナ



人を殺すのに
慣れている…

何百年も
あそこで…



君と契約できて
すごく嬉しい！



契約の事だけど



ああ
そうでした…



綺麗な目もいい

エルミナはどこも
美味しそうな
匂いがするね

その小さい口も耳も
鼻も手も足も



だってこの子は

へへへ

悪魔

さっき助けた
お礼の話だよ

契約の対価って
言えば分かるかな

ゼーんぶ
美味しそうだ♡

一番最初だから
凄いモノ貰っちゃおう♪



ん？急に怖く
なっちゃった？



いえ…



あなただに助けて
もらえなければ

どんな戦争にも
勝てるってわけ

死ぬよりも
もっと恐い事に
あつていたはずだ



目でも耳でも
心臓でも

お好きなモノを
どうぞ



あはっ
君って意外と
度胸あるよね

ますます
気に入っちゃった

剣を渡した時も
戦おうとしてたし

でも安心して

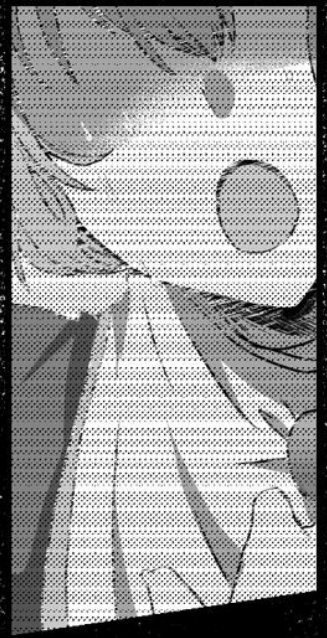
僕が貰う
最初のモノは
もう決まってる



君の処女だよ

!?

あの時から



食べたくて



食べたくて



食
べ
た
く
て

食べたくて

食をたぐて

食
べ
たく
て

食生活





ごめんね♡
すごく美味しくて
つい...♡

でも、やっぱり
君って凄い

こうやって
触れ合ってるだけでも
凄い魔力が流れてくる





いやっ…

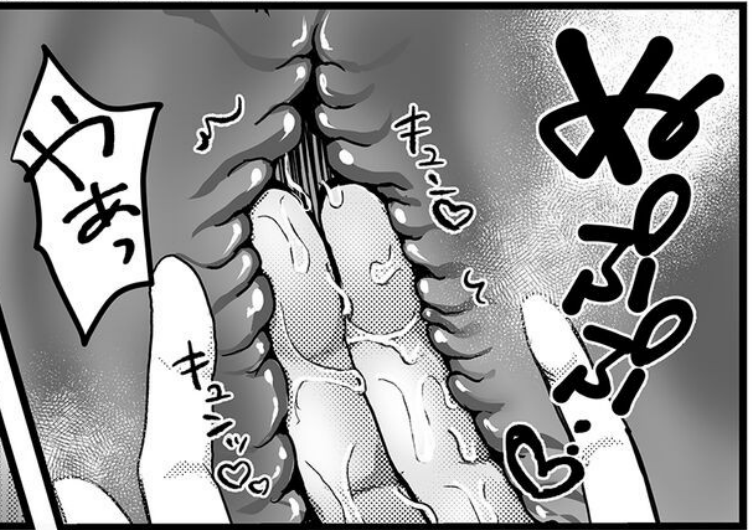


爪は縮めるけど

怪我しちゃうかも
しれないから
あまり暴れないでね？



め…め…め…



め…め…め…

め…め…め…



わあ♡



め…め…め…



あれ…？











いただきまあす♡

はあ

ああ

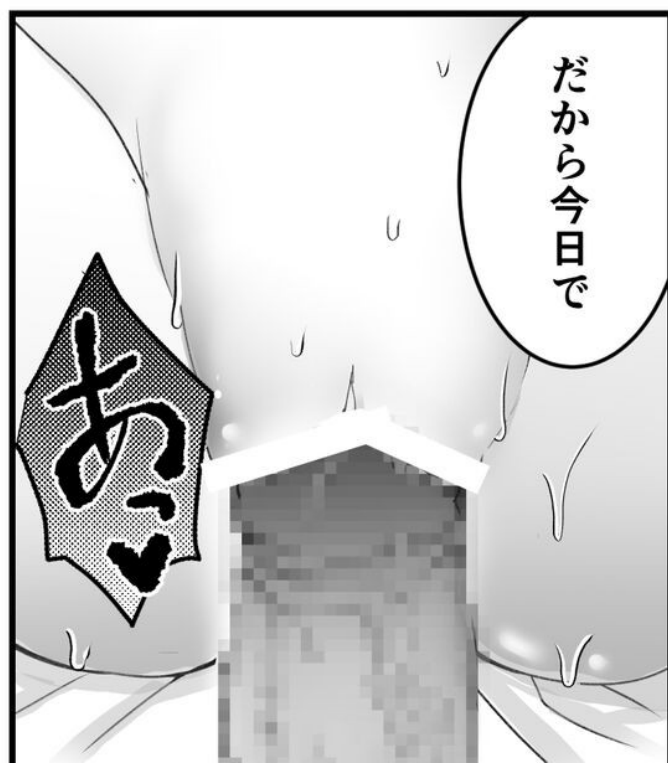


待ってください…

私のこの身は
神に捧げ

それは好都合

だって僕
聖職者って
大嫌いなんだー



だから今日で

ああ



やれ、聖水だー
十字架だーって

ぬちゅ♡

うるさいんだよね
あいつら

ぬちゅ♡



シスター
聖職者は引退だね♡



うわあ…♡
とろけそう…



君の処女膜と
愛液が混ざり合って

カカカ…♡

最高だよ…!!









…そうだ

刻印の場所
どこにしようか
迷ってたけど

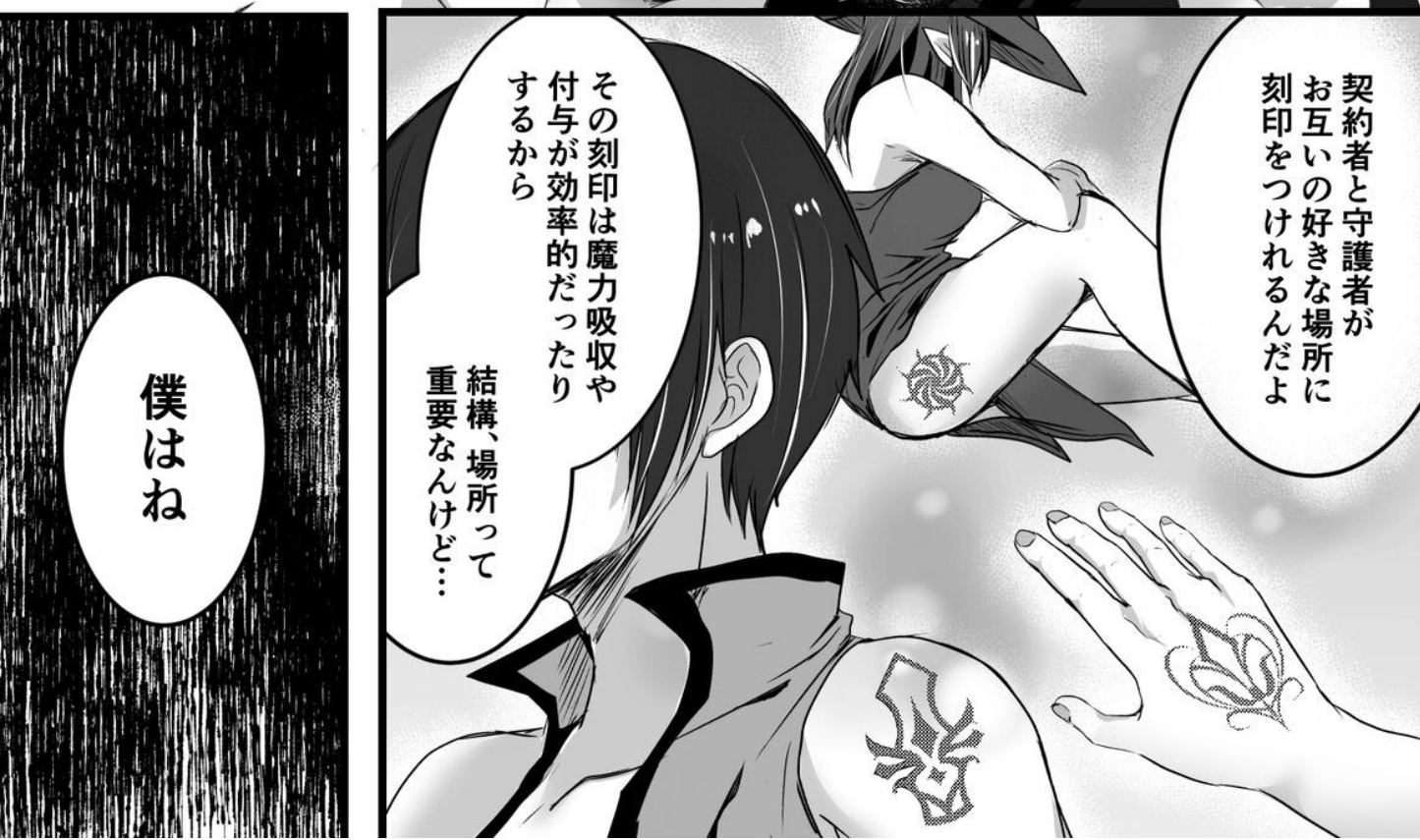
決めたよ



刻印…？

はあ

はあ



契約者と守護者が
お互いの好きな場所に
刻印をつけれるんだよ

その刻印は魔力吸収や
付与が効率的だった
りするから

結構、場所って
重要なんだけど…

僕はね















エルミナ…？



エルミナ
見て！

僕の刻印♡













もう一回
せつくすしゅ♡♡

トキッ

トキッ♡♡

おッ♡

オッ

♡♡♡♡♡

こっこんな…

トキッ♡♡

おッ♡♡

いきなり—





頭のとっぺんから
つま先まで

僕のものだ

好き

ああっ
エルミナ♡

エルミナ♡

大好き







でも仕方がないよね
何百年ぶりの
食事だったし…

最初からちょっと
飛ばしすぎたかな

うーん…



ああー早く
堕ちてくれないかな

待ちきれないなあ



…



無垢なる聖女は
闇に堕ちる

エルミナ

20年前に滅んだ白族の生き残り。
山奥でひっそりと暮らしていたため
世間知らずなところがある。
おっとりな性格。



アベル

教会の地下に封印されていた悪魔。
500年過ぎたあたりから数えていないので
実際何百年、地下にいたのか不明。
なぜかエルミナの事が大好きでエルミナ以外は
どうでもいい。自由奔放な性格。

刻印

契約者と守護者で契約が交わされた印。
刻印は普通に魔力を得るより
効率がいいため、場所は重要である。
内部に刻印したとしても場所がわかる
よう必ず表面に浮き出してくる。



守護者

契約者と交わされた契約を守るモノ。
契約者を殺す事は出来ない。
契約者の死後、その魂は守護者の
モノとなる。

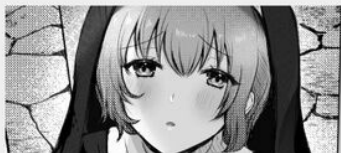


癒しの聖女

あらゆる傷を治癒する事ができ、
無限の魔力を内包している。
魔力を巡らせるための一環として
敏感な体質になりやすい。
あらゆる事象に巻き込まれるため
短命であることが多い。

契約者

契約を交わしたモノの総称。
守護者に願いを叶えてもらう
代わりに代償を支払う。一度、
契約すると死後、契約者の
魂は守護者のモノとなる。

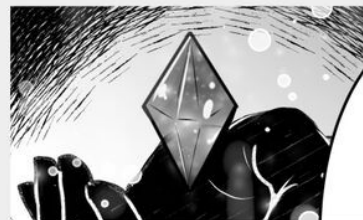


白族

かつては強国の1つだったが
20年前に滅びた一族。
防衛魔法に長けていた。

マジックコア 魔力核

魔力を凝縮して、できる遺物。
能力や威力は魔力に依存する。





あとかき

作品をご購入くださりありがとうございます！
2年前に描き始めてようやく描き終わりました…。
もちろん、2年丸々描いていたわけではないのですが…
休み休み描いていると、時間を置いたたびに描きなお
したくなり永遠に終わらない負のループになって
おりました。勢いで描くって大事…！

昔からオリジナルを想像するのが好きだったので
漫画という形で出せて嬉しいです！

自分の性癖をいっぱい詰め込んだので、少しでも癖に
刺さってくれた人がいてくれたら幸いです！
この二人のエピソードはまだまだ続きがあるので
描きたい気持ちはありつつ、次の完成は何年後に…
と頭を抱えつつあるので、のんびり頑張ります。

今後の創作意欲をわかすためにもレビューや感想など
よろしければお願いいたします！

Twitter
shin_cooH



Special thanks
からあげちゃん ゆっけ

- ・18歳未満の閲覧、無断転載、複製は禁止です。
- ・この作品をshinの許可なくインターネット上にアップロードした場合(著作権法23条)
10年以下の懲役、もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方が同時に科せられます(著作権法第119条第1項)
- ・発見した場合は法的処置をとります。